

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	SDGs×道の駅南信州うるぎの新しい魅力化PJ
事業主体 (連絡先)	株式会社 百匹目の猿 0260-28-1051
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,210,581 円

事業内容

- ①売木村の道の駅でなければ体験できないコンテンツの創出
 - 囲炉裏Bar: うるぎ炭を活用し炭火体験型飲食を提供。
 - 焚き火カフェ: 火おこしから薪による直火による体験型飲食を提供。
- ②うるぎ炭・木酢液のブランディング
 - うるぎ炭: 新たにブランディングし、特産品として道の駅で販売を実施。
 - 木酢液: 新たに特産品として商品化し、道の駅で販売を実施。
- ③オープンイベントの開催

令和元年11月3日に①のお披露目イベントを開催。囲炉裏Barや焚き火カフェで体験できるブースを設置した。



【お披露目イベント(囲炉裏Bar)】

【目標・ねらい】

- ①道の駅の来客数の増加
- ②冬の来客数の増加
- ③SNS等でのクチコミ・評価向上
- ④地域への波及効果

事業効果

- ①2018年 17,500人⇒2019年度 23,998人と約6,500名の客数増加へ繋がった。
- ②2018年度冬期(11月～3月)の来客者数4,531人⇒2019年度 5,383人と前年対比120%増加へ繋がった。
- ③GoogleMapでのクチコミ件数142件から210件へ増加した。
- ④ワークショップ、オープンイベントを開催することにより500名以上の関係人口を創出した。また、道の駅だけでなく地域全体の観光客数を底上げし、地域全体の活性化に寄与した。

※自己評価【B】

【理由】

総来客数や閑散期(冬季)での来客数が予想を大幅に上回る結果となった。また、オープンイベントは、村で年間一番の賑わいを見せた。しかしながら木酢液や炭の商品化の時期がずれ込み、オープンイベントで披露できなかった等の課題もあった。

今後の取り組み

- 来客数の増加の他に関係人口も増やせたことから、引続き村民×観光客での交流イベントやワークショップを展開し、道の駅のファン(リピーター)を増やしていく。
 - 道の駅でパーマカルチャーガーデンWS等
 - 道の駅に売木の木を使った子供たちの遊具をつくろうWS等
- うるぎ炭・木酢液を道の駅だけでなく、うるぎの特産品として県外への販売を考えている。また、売木村のPR活動のツールとしても使用していき、うるぎファンの獲得へ繋げる。
- 囲炉裏&焚き火カフェの体験型飲食ブースとして有効利用していく。
 - 売木の旬の食材を焼きて食べたり、囲炉裏ビアガーデンなどを新たに検討している。
- 住民と協働で制作した囲炉裏等については、道の駅のみならず、売木村全体のイベントや地区での活動などに活用してもらうことで、村全体の活性化に資する取組としていきたい。